

# 総合人間学

第8回

研究大会

2013年6月8日(土)・9日(日) 於名古屋学院大学白鳥学舎翼館



<1日目：8日(土)>

12:15 - 受付

12:45 - 13:30 総会

14:00 - 16:00 一般研究発表

16:15 - 18:15 若手シンポジウム

「〈老い〉を考える—近代化・自立・尊厳」

18:30 - 懇親会

<2日目：9日(日)>

09:30 - 受付

10:00 - 12:20 シンポジウム (前編)

12:20 - 13:20 昼休み

13:20 - 16:30 シンポジウム (後編)

## ■シンポジスト■

### ▼「人間の絆の根底を考える」

東北大学名誉教授、仙台白百合女子大学名誉教授

岩田 靖夫 氏 (哲学)

### ▼「子どもと青年、家族が出合った複合災害

—語ること・語らないこと、聴くことの意味」

元中央大学教授、元北海道大学教授、臨床心理士

横湯 園子 氏 (教育臨床心理学)

### ▼「祭りと縁 - “ともに在ること” の考察」

富山大学人文学部准教授

竹内 潔 氏 (人類学)

### ▼「中山間地域の活性化、

綾部での6年間の学外実習から」

明治大学文学部教授

杉山 光信 氏 (社会学)

## ■司会■

名古屋学院大学リハビリテーション学部教授

木村 光伸 氏 (霊長類学)

東京農工大学名誉教授

尾関 周二 氏 (哲学)



# 人間関係の新しい紡ぎ方

— 3・11を受け止めて

参加費 会員：1500円  
学生：500円  
非会員：1000円(1日)

(懇親会費：4000円)

## 【連絡先】

〒160-8402

東京都新宿区新宿6-1-1

東京医科大学生命倫理学教室

Tel: 03-3351-6141 (内256) Fax: 03-3350-5172

web: <http://synthetic-anthropology.org/>

mail: [contact@synthetic-anthropology.org](mailto:contact@synthetic-anthropology.org)

会長 小原秀雄  
大会実行委員長 木村光伸

# 総合人間学会 第8回研究大会

シンポジウムテーマ

## 人間関係の新しい紡ぎ方 —3.11を受け止めて

シンポジウム趣意書

東日本大震災（3.11の悲劇）は単に自然災害と20世紀的技術のシンボルともいえる原発がもたらした災害、そしてそれに随伴する人間の生活基盤への被災という災害論を超えて、われわれに自らの役割を再考することを迫った。開発と拡張の世紀を終えて、生活の質を問い直し、膨張する世界人口の中で新たな論理を構築すべき21世紀という構図は、3.11によって脆くも崩れ去ってしまった。3.11は既存の知の体系に対して根底からの疑問と反省を投げかけたのである。われわれが科学技術や産業構造、ひいては人間らしい生活構造に対して抱いていた理性ある存在としての人間らしさは根底からの批判に晒され、再生への道のりは遠いものとなった。そのような社会的環境の激変に呼応するように、人間関係の再生や新しい結びつきが模索され、「絆」という言葉が象徴するように、人と人との関係の結び直しに新しい人間社会の構築のための中心的な課題が見出されるというような主張が声高に語られている。しかし、「絆」は誰かが意図的に、あるいは操作的に繕うような性質のものではなく、個々人の社会的な生活を通して形成されてきた創造的象徴であって、「さあ、みんなで絆を取り戻そう！」などというようなものでもなければ、ボランティアが仲介するようなものでもない。いや、それ以前にわれわれの前には、多くの犠牲者とともに災害で家族を失い、自ら辛酸をなめた多くの被災者という名の当事者が存在する。その苦悩を、共に生きる世代のわれわれはどのように共有することができるのか、そしてその先にどのような未来を展望することができるのかということを考えながら、あまりにも過酷な現実を前にして立ち尽くすしかないのである。

しかし、現実を背を向けることはできない。人間関係を新たに紡ぎ直すための手がかりを復興という人間自らの行動を通して、またそれを支える新たな知の体系の構築を通して見出していかねばならない。そもそも生物的存在として自らを認めつつ、人間特有の社会性を獲得し、その上に人間社会を構築してきたわれわれが目指す、次なる生活とは如何なるものであろうか。すでに生物的な基礎から遊離した文明を、われわれはどのように評価し、再創造することができるのか。われわれはどこから来て、どこへ行こうとしているのか。どのような道に次の時代への希望を見出すことができるのか。突きつけられた課題は大きく重い。今回のシンポジウムでは3.11を契機に再考を求められている人間関係そのもののあり方を突き詰める議論を沸騰させたい。

大会実行委員長 木村光伸

### 会場へのアクセスと周辺地図



【会場へのアクセス】



【周辺地図】